

6人中6人

白山台放課後等デイサービスみゆ～みゆ～

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		国の基準スペースは確保されているもののそれが果たして子ども達の個別対応として構造化されているかという改善が必要と思われます。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		最低基準は満たしている。きりはないが送迎要因、丁寧な対応となると足りません。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			既存の手すり、エレベーターが設置されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		15時下校時を利用して、実施されています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			年1回アンケート調査を実施します。結果を全職員で共有・検討し、改善できる事項については改善工夫していきたいです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページ及び、全保護者へ通知致します。また事業所内にも掲示致します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	1	第三者による評価に繋がっていない現状です。今後、より良い事業所にするために外部評価も検討していきたいと思っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			個人的な研修にも参加している。子ども達の指導、療育は当然だが、サービス提供者というスタンスを忘れずに、他業種のコンプライアンスや接客マナーについての研修も実施していきたいと考えています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者との面談の中で子どもの保護者のニーズを聞き取り、全スタッフでアセスメントを実施し、なるべく長所を引き出すような支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			各個人の発達状況に応じて、社会項目を必要としたアセスメント票を、あるいは見える化シートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		基本は個別支援計画に則った活動プログラムを行っています。各個人の個別支援会議を実施しながら、それぞれ支援を必要とすること長所をさらに伸ばす支援を実施しています。多くの社会資源を利用した支援も実施していきたいと思っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		それぞれ動いている感がある。やはり朝礼及び一日の支援内容についての打ち合わせが必要と思われます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		しっかりとした打ち合わせとしては時間を設けてはいません。雑談の中で、行っているので重要なことは、行っていききたいと思います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		業務日報、ケース記録において問題提起及び今後、どう改善し、支援していくべきかの記録は行っています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			保護者との面談を行い、放課後等デイサービス計画の作成・評価を見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	1		行っているつもりではあります。みゆ～みゆ～独自の取り組みも行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			主に児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			送迎時、学校の先生から(体調の変化トラブル子ども達の頑張った様子)等の話は帰宅時に報告している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	3	医療的ケア児の受け入れ体制が整っていないのが現状です。ただし協力医療機関としては近隣の「うしお内科クリニック」に依頼しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		1	相談支援専門員を通して、連携会議や引継ぎを行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4		1	高等部3年生の利用者がおります。その方の情報提供を行い、スムーズに障がい福祉サービスへ移行できるようにしていきたいと思っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	2	出来ていないのが現状です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	養護学校では他校との交流はあるが、今後事業所で行事をする際、中学生のボランティアを募ってみてはどうかと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	3	していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			なるべく保護者と会話をするように心掛けています。もっと事業所での活動の様子を細目に伝える必要性を感じています。また保護者同士の情報の共有を図る意味でも茶話会の実施も考えています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	2	保護者に対するペアレント・トレーニングは行っていません。必要に応じて、個別面談を実施しています。また家族が大変な場合は家族支援も行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		契約時に説明を行っています。また、誰もが回覧できるように事業所前に置いています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			いつでも当所を開放し、保護者からの相談に乗るようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2		3	現状はないです。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情ボックスの設置をし、苦情受付担当者を設けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2		個人情報の観点から、会報等の発行に関し検討中です。個々に保護者へは子どもの活動内容はお知らせしていきたいと思っています
	35	個人情報に十分注意しているか	6			常に注意をしています。写真掲載等に関しても、その都度確認をさせて頂いています
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			言葉による伝達が難しい場合は視覚からの伝達を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	1	隣接の高齢者施設の方との交流、消防、一本堂さんと行事を通して関わり合いを持つことが出来ています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			契約時に、災害マニュアル、感染症マニュアルを配布し説明しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			地震、火事、不審者以外にも停電時の訓練等も行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待防止マニュアルを作成しています。虐待防止の研修は事業所内、行政機関の行う研修にも参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		危険性を伴う場合、止むを得ず身体拘束を行う場合があるかも知れません。そこで来年度は、全利用者から同意書を得る予定です。さらにケース記録も開示し保護者から毎月、確認印を頂いています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	1	契約時に、必ずアレルギーの有無を確認しています。そこで有る場合は、医師の指示書に基づいて対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	1	事故防止に関しては、常時配慮及び話し合いをしています。今後は全体でリスクマネジメント会議の開催の実施も検討していきたいと思っています。

令和1年度

<自由記述>

当事業所のサービスの質の向上及び運営、そして一番大事なポジションとなる現場スタッフとして、働きやすい環境、今後、放課後等デイサービスは、どうあるべきか、自由に記述願います。

- ・利用者の小さな一言にも耳を傾け、すぐに対応する事。
- ・職員間の情報の共有と話し合える体制づくり。
- ・慣れ合いではなく、良い意味での距離感を大切に、信頼関係を築いていく。
- ・職員も児童も楽しく来所できる場所にする！！（今でも十分に楽しいが…もっと、もっと）
  
- ・働きやすい環境について  
もう実施していることではあるが、誰が誰を見るか決める。現在やっている個別課題の共有、次の段階を話し合う等をするとう働きやすい。
- ・どうあるべきか  
学校終わりに来るところでもあるため、心落ち着ける場所、ストレス発散が出来る場所であると同時に課題、遊びの中で将来必要なルール、日常生活に必要な能力、就労支援を個別で見ればと思う。
  
- ・今はまだ、わからない事が多く、日々支援をしながら覚えている状態です。子ども達に怪我、事故がないよう、常に緊張感を持って見守っていかなければと思う。一人ひとりが必要な療育、社会性を身に付けられるよう支援していきたい。
  
- ・子ども達が楽しく通える場所にするために、まずはスタッフの精神面のケアをしたい。  
スタッフが楽しくなければ子ども達は、当然楽しくなくなる。トップダウンではなく、ボトムアップで、どんどん、これまでの経験、知識、子育ての先輩、そして人生の大先輩のスキルを出し合って、子ども達のサポート、対応をして欲しい。誰でも意見を言える職場雰囲気を作りたい。